

4 健康福祉施設

① 保健センター（1 箇所）

建築面積は970.658㎡、延床面積は1,581.15㎡で、築20年を経過した施設である。

建設当時、各種保健事業や予防接種事業は、公民館等の公共施設に対象者が集まって実施されるという集団方式が全国で行われており、先進的な施設として開設したが、時代とともに事業の個別化が進み、各医療機関等で実施される事業が多くなったことから、センターとしての役割も変化してきている。

こうした事もあり、平成23年5月には、旧庁舎を使用していた教育センターが移転して来ている。教育センターを移転するために、教育センターの機能に合わせた改修工事を実施する際、合わせて保健センターの一部改修を実施しているが、老朽化は著しく、その対策が課題である。

また、敷地部分は市有地だが、駐車場1,714.99㎡はすべて借地である。

② 老人福祉センター（1 箇所）

建築面積としては、老人福祉センター855.94㎡、おたっしゃ工房186.05㎡で、合計1,041.99㎡である。

老人福祉センターの建物は、築33年を経過した施設であるが、平成9年度に大規模改修を実施している。しかしながら、改修後、既に15年が経過しており、改修時期とほぼ同じくして建設されたおたっしゃ工房とともに、老朽化が進んでいる。

特に、センターには入浴施設があり、水を使用する設備が多いことから、施設や設備の老朽化は他の施設より早い。

平成19年度には、市内高齢者の生きがいづくりに主眼を置いて活動している社団法人シルバー人材センターを指定管理者に決定してセンター運営を委任しており、市内高齢者が、市内高齢者のために施設を運営し、自ら生きがいを見つける事業展開を行っている。

また、隣接施設である「きいちご」とともに、敷地のすべて（19,787.48㎡）が借地であることから、借地地権者からの相続等による土地の買取り要望への対応も課題である。

③ 海洋センター（1 箇所）

建築面積は1,179.26㎡、延床面積は1,102.28㎡で、築

30年を経過した施設である。

B & G財団により建設され、市に無償譲渡された施設で、開設当初は屋内プールが人気の施設であったが、近年、近隣にプール施設やスポーツジム等が整備され、所期の目的を達成したとして、平成16年度にプールを閉鎖し、プール棟を撤去している。

現在残っている体育館についても老朽化が著しく、また、敷地全体（10,060.68㎡）の約76.8%にあたる7,726.68㎡が借地であるため、施設の今後の方向性自体が課題である。

④ 心身障害者地域デイケア施設「きいちご」（1箇所）

建築面積は534.26㎡、延床面積は519.56㎡で、築23年を経過した施設である。平成14年には、利用者への対応上、作業室内に障害者用トイレが必要になったことから、経年劣化による床暖房関係と合わせ、改修工事を実施している。その後、平成21年度には食堂及び作業室の空調設備の改修工事を実施している。

この施設は、老人福祉センターとして借地していた土地に建設したため、老人福祉センターの借地の一部として扱っているが、きいちごの敷地全体（3,525.54㎡）が借地である。

なお、埼玉県「地域デイケア事業」の補助を受けて運営していたが、障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターに移行するため条例を改正し、平成24年4月から障害者地域活動支援センター「きいちご」と改めた。

⑤ 保育所（3箇所）

本市には、3つの保育所があり、全体の建築面積は2,344.78㎡、延床面積は2,790.20㎡となっている。また、施設規模は延床面積で714.76㎡（東部保育所）～1,313.17㎡（鶴ヶ島保育所）であり、鶴ヶ島保育所は、発育支援センターも併設しているため規模が大きくなっている。

建築年数をみると、築31～40年が2保育所あり、平成10年に新築移転した鶴ヶ島保育所以外は、施設開設当初の建物を使用している。

このため、東部保育所及び富士見保育所では建物・設備の老朽化が進んでおり、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、児童の安心安全確保を優先するため、平成24年度には、今後の公立保育所の方向性を定める保育計画に先駆けて耐震診断の実施を予定している。

施設敷地は全体で6,537.15㎡あり、敷地規模は1,987.2

7㎡（富士見保育所）～2,514.99㎡（鶴ヶ島保育所）となっている。2つの保育所は借地を有しており、このうち富士見保育所は、敷地全体を独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）から無償で借地している。

このように、施設老朽化や借地という市独自の事情があり、全国的な少子化とも相まって、今後の保育所の方向性を早急に決めなければならないという課題が浮上している。

保育所一覧（平成24年4月1日現在）

保育所名	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建設年 ※1	児童数 (人)	借地
鶴ヶ島保育所	2,514.99	829.88	1,313.17	H10	130	無
鶴ヶ島東部保育所	2,034.89	730.67	714.76	S49	131	有
富士見保育所	1,987.27	784.23	762.27	S54	127	有
合 計	6,537.15	2,344.78	2,790.20		388	

※1：建設年は、主要な建物の竣工年とした。（調査シートより）

⑥ 児童館（4箇所）

本市には、児童館が4館あるが、3館は公民館に併設であり、単独施設は上広谷児童館のみである。上広谷児童館については、建築面積446㎡、延床面積は396㎡で、既に築25年を経過した施設である。

この上広谷児童館は、平成19年7月から指定管理者制度を導入しており、建物・設備の老朽化が進んでいるが、チャリティ募金を基にした遊戯室エアコン更新なども行われている。

また、上広谷児童館の借地は、敷地の約41.4%にあたる694㎡である。

⑦ 学童保育室（16箇所）

本市には、11の学童保育室と5つの小規模児童クラブがある。これは、平成19年10月に国が出した学童保育室の運営に関するガイドラインの中で、児童の安全と情緒の安定の観点から、規模は最大70人までとすることが定められ、70人を超える学童保育室を分割した事によるものである。

学童保育室と小規模児童クラブ全体の建築面積は、2,201.30㎡、延床面積は2,024.8㎡である。小規模児童クラブについては、第二小学校南校舎1階空き教室の一部を改修して利用しているどんぐり小規模児童クラブ以外は、同時期にプレハブ建築により建設しているため、同規模

になっている。

建築年数をみると、築21～30年が1箇所、築11～20年が6箇所であり、他の施設グループと比べ、建て替え等の対応がなされているところがあるが、学童保育室の分割に対応するため、廃止予定の建物を改築により継続使用しているものもあり、老朽化が著しい建物がある。

学童保育室と小規模児童クラブ全体の施設敷地は、15,896.28㎡であるが、同一敷地内に小規模児童クラブを併設したり、小学校の敷地や空き教室を利用するなどの工夫もされている。

また、借地のある学童保育室は3箇所、借地合計面積は1,980.18㎡である。

学童保育室一覧（平成24年4月1日現在）

学童保育室名	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建設年	利用者数 (人)	借地
なかよしクラブ (第一小学校区)	981.70	212.45	187.88	H18	68	無
なかよし小規模児童クラブ (第一小学校区)	(981.70) ※3	19.70	19.70	H22	18	無
どんぐりクラブ (第二小学校区)	327.54	173.36	164.51	H20	66	無
どんぐり小規模児童クラブ (第二小学校区)	69.30 ※1	69.30 ※1	69.30 ※1	H22 ※2	6	無
はちまんクラブ (長久保小学校区)	834.55	205.21	165.61	H12	61	無
はちまん小規模児童クラブ (長久保小学校区)	(834.55) ※3	19.70	19.70	H22	0	無
つくしんぼクラブ (藤小学校区)	312.53	94.55	80.67	S63	57	有
第二つくしんぼクラブ (藤小学校区)	485.65	164.51	164.51	H22	60	無
たんていクラブ (南小学校区)	1,597.07	205.65	170.87	H12	67	無
たんてい小規模児童クラブ (南小学校区)	(1,597.07) ※3	19.70	19.70	H22	11	無
ひまわりクラブA (新町小学校区)	4,992.00	148.70	148.70	H14	51	無
ひまわりクラブB (新町小学校区)	1,779.00	115.00	115.00	H8	37	無
ひまわりクラブC (新町小学校区)	1,808.33	304.25	283.85	H5	50	無
ありんこクラブ (杉下小学校区)	990.17	164.51	164.51	H22	68	無
つばきやまクラブ (栄小学校区)	1,041.74	189.26	170.22	H9	69	有
もみじやまクラブ (栄小学校区)	676.70	95.45	80.07	H6	37	有
合 計	15,896.28	2,201.30	2,024.80		726	

※1：どんぐり小規模児童クラブの敷地面積については、第二小南校舎1階空き教室の一部。

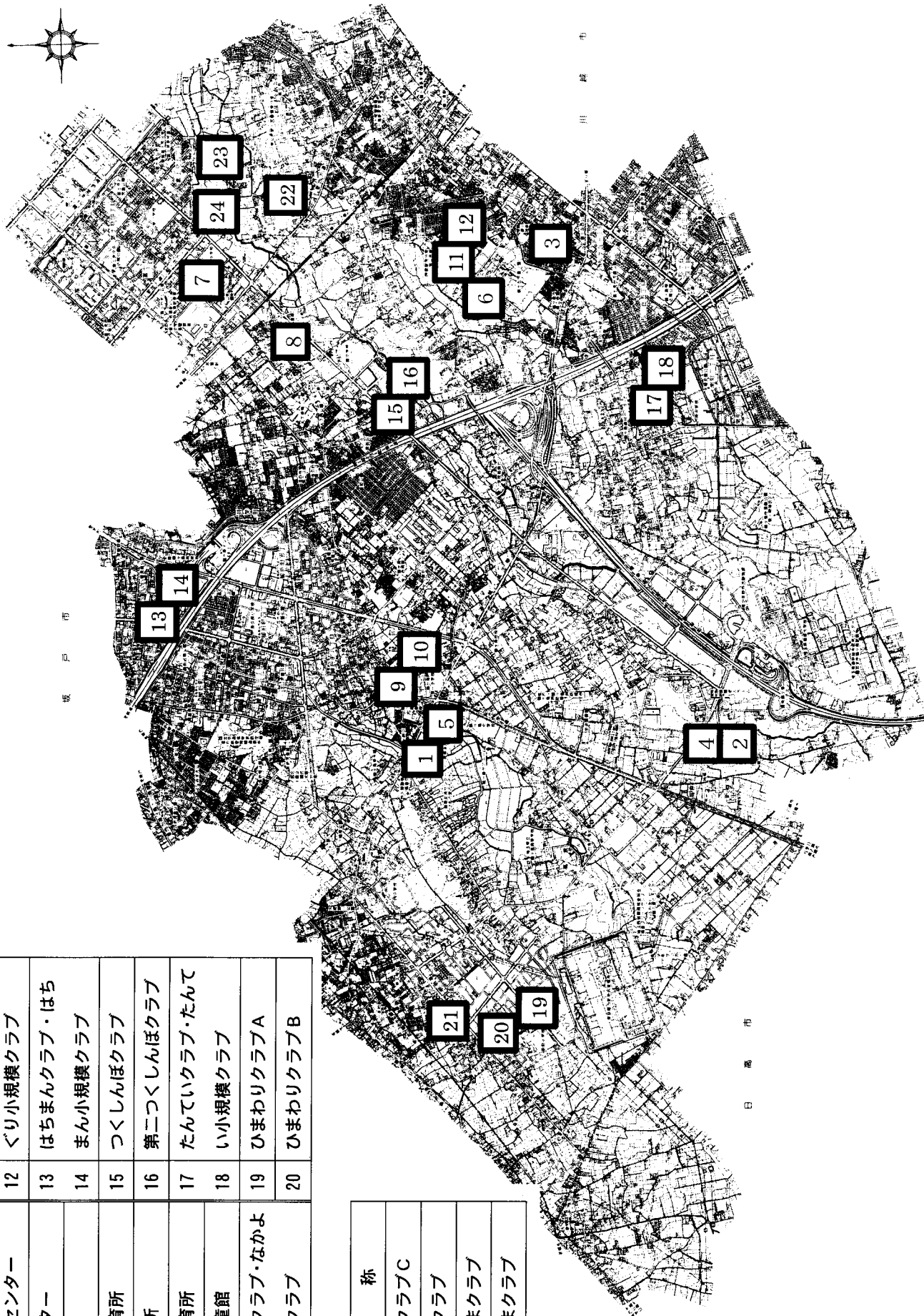
※2：第二小南校舎1階空き教室を小規模児童クラブ用に改修した年を記載している。

※3：1段上の学童保育室と同一敷地のため、() 書きとした。

健康福祉施設配置図

名 称	名 称
1 保健センター	11 どんぐりクラブ・どん
2 老人福祉センター	12 ぐり小規模クラブ
3 海洋センター	13 はちまんクラブ・はち
4 きいちご	14 まん小規模クラブ
5 鶴ヶ島保育所	15 つくしんぼクラブ
6 東部保育所	16 第二つくしんぼクラブ
7 富士見保育所	17 たんていクラブ・たんて
8 上広谷児童館	18 い小規模クラブ
9 なかよしクラブ・なかよ	19 ひまわりクラブA
10 し小規模クラブ	20 ひまわりクラブB

名 称
21 ひまわりクラブC
22 ありんこクラブ
23 つばきやまクラブ
24 もみじやまクラブ



施設調査シート

施設名	鶴ヶ島市保健センター		所在地	鶴ヶ島市大字脚折 1 9 2 2 - 1 0	
所管部署	健康福祉部 保健センター・健康づくり推進担当				

1 施設の概要

設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るため、鶴ヶ島市保健センターを設置する。					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市保健センター条例					
施設開設時期	平成5年4月1日	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	13 人 その他 5 人	
現建物当初建設費	7 2 8 , 0 8 3 , 3 1 3 円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	空調設備保守点検、警備保障、清掃、エレベーター保守点検、自家用電気工作物保安、非常用自家発電保守点検、消防設備保守点検、自動ドア保守点検			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	2,678.61 m ² (筆数)		1 筆		
	用途地域	指定なし		防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	平成4年11月30日	改修年月	☒ 有 (平成23年4月) ☐ 無		
	建築面積	970.658m ²	延床面積	1581.15m ²	階 数 地上2階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()				
	受電設備容量	175 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☒ 低圧 18 KVA	合計	台	☐ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ビラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1 面 ☒ 電灯分電盤 1 面 ☒ 動力制御盤 1 面				
	変圧器	☒ 有 (合計 2 台・合計 175 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無				
	昇降機設備	☒ エレベーター 1 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台 合計 1 台 ☐ 無				
備考	非常用自家発電はディーゼル方式を採用					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☒ 冷温水発生機 12.4 kw×2		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☒ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ ヒートポンプ		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ その他				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
備考						
衛生設備	給水方式	☒ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☐ その他 ()				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式)				
		☒ 局所方式 (☒ 貯湯式 ☐ 瞬時式)				
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他 (合併処理浄化槽 201人槽)				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
備考						
ガス設備	供給方式	☐ LPG ☒ 都市ガス (☐ 中圧 ☒ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考	都市ガスは1.0～2.5キロパスカルで供給されている。				
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☒ 有 ☐ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無				
	消火設備	☒ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	13,110人	13,010人	12,348人	
各室利用人数				
会議室（収容人数25人）	600人	500人	414人	
機能訓練室（収容人数人）	120人	120人	120人	・20歳代～60歳代 ・訓練室なので、定員や収容人数設定なし
研修室（収容人数80人）	12,000人	12,000人	11,414人	子育て（乳幼児）世代
食生活指導室（収容人数32人）	250人	250人	250人	40歳代～70歳代
相談室1（収容人数6人）	100人	100人	105人	子育て（乳幼児）世代
相談室2（収容人数4人）	40人	40人	45人	子育て（乳幼児）世代

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	・市町村保健センターの整備は、国の第一次国民健康づくり対策（S53～63年度）、第二次国民健康づくり対策（S63～）の「健康づくりの基盤整備等」の施策として、地域における多様化しかつ高度化する保健、衛生等に関する需要に応じる為、健康増進の拠点施設として市町村保健センターの整備及び運営に関する基本的事項等が示され、全国各地で市町村保健センターの整備が進んだ。 当時の鶴ヶ島町では、予防接種、乳幼児健診、住民健診、がん検診等について、公民館を会場として実施していた。設備の整わない会場で、予防接種ワクチンや健診物品、機材を持ち込んでいた為、安全面、衛生面、プライバシーへの配慮等が課題となっていた。 こうしたことから、保健センターの機能について検討を重ね、市民の健康増進の拠点施設として平成5年4月に開所した。 建設場所については、次の理由等により、現在地に決定した。 ①現在地が旧町公民館跡地で、町有地であったことから用地取得する必要がない。 ②市内のほぼ中央に位置する事から、市内のどの場所からの距離もほぼ同程度となる。 ③敷地面積も適当であった。 ④駐車場確保についても、隣接する大字脚折1922-6の土地（旧職員駐車場）の利用を見込み、女性センターとの共同利用による有効性が見込まれた。 ・教育センターについては、H21.12.24市長決裁の「教育センター（旧庁舎）の建物の活用の方針」の中で移転先として保健センターが移転候補地に挙がっており、その後の保健センターと教育センターの協議により移転先と決定し、H23.5.9に移転された。		
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：77台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無 ☒ 有（面積）1,714.99㎡（筆数）1筆（地権者数）1人 【 ☐ 敷地全体 ☒ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】 ☐ 無	寄附の有無 ☐ 有（内容） ☒ 無	
	建設費補助金の有無 ☒ 有（167,900,000円） ☐ 無		
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無		
施設利用者の要望・意見等	・交通の便が悪い（市役所からのバスの乗継がスムーズにいかない）		
施設運営上の問題点等	・施設の老朽化が進み、予測しなかった故障、修繕が毎年発生している（点検の度に、故障箇所が発生している） ・センター内での計画的な修繕が行えるよう、予算配置等をおこなってほしい（毎回急な修繕では、予算管理、事務の簡素化が計れない）		
その他施設情報	・事務室内パネル式空調機については、経年劣化により頻繁に故障をしていたが、教育センターの移転に伴う改修工事（平成23年4月完了）の一環として同時に改修を行った。一体で改修工事を行ったことにより経費の削減になった。 ・女性センター、鶴ヶ島保育所（発育支援センター）、教育センター、保健センターで共有使用している駐車場（大字脚折1922-6）は、旧庁舎使用当時、職員第一駐車場として借用使用していたものである。建設計画の中でも、保健センター利用者の一時期集中を想定し、大駐車場を確保する必要性があり、女性センターとの共有を図ることで土地の有効活用を行えるものとしている（借用契約期間：H5.1.13～H25.3.31まで）。 現在は、各施設の利用者だけでなく、上記施設（女性センター除く）の職員駐車場としても利用している為、各施設の催し物や事業等で多くの市民等が来所すると駐車場が満車となり、支障をきたすこともある。このため、利用が多く見込める場合には、予め保健センター、教育センター職員については、旧教育センター、農業交流センターの駐車場へ移動している。 また、近隣住民等の無断駐車も多くみられ、夜間に施錠をしていないことから、特定の住民が駐車場として使用している。		

◆空調設備 (詳細)

空調方式	☐ 中央	☐ 個別	☒ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	-----------------------------	--	----------------------------

◆公民館等（保健センター）

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
事務室 (1F 保健センター、2F 教育センター)	有	パッケージユニット	電気
電算室	有	パッケージユニット	電気
応接室	有	パッケージユニット	電気
休憩室	有	パッケージユニット	電気
消毒室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
尿検査室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
健診室1、2、3、4	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
歯科指導室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
歯科健診室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
相談室1、2	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
ロビー	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
アベルト (旧機能訓練室)	有	パッケージユニット	電気
相談室・資料室 (旧機能訓練室)	有	パッケージユニット	電気
研修室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス
食生活指導室	有	冷温水発生機 12.4kw	都市ガス

◆舞台のある部屋の設備 無

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無	m ²	
舞台照明			
プロジェ			
スクリー			
音響設備			
記入した			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」	所在地	三ツ木935-1
所管部署	健康福祉部 高齢者福祉課		

1 施設の概要

設置目的	鶴ヶ島市に居住する老人が健康で明るい生活を営むことが出来る環境作りを目的に設置					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例					
施設開設時期	昭和54年11月	施設職員数 (H22.4.1) 施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数	※指定管理者制度導入及び運営委託 正職員 4.5/日人 その他 人			
現建物当初建設費	182,369,100円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営					
	☐ 直営 (一部業務委託)		(委託内容)			
	☒ 指定管理者		(名称)	社団法人 鶴ヶ島市シルバー人材センター		
敷地	敷地面積	1,987.48㎡ (筆数) 1筆				
	用途地域	指定なし	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和54年6月	改修年月	☒ 有 (平成10年1月・平成12年2月) ☐ 無		
	建築面積	855.94㎡ (外、おたっしや工房 186.05㎡)	延床面積	855.94㎡ (外、おたっしや工房 186.05㎡)	階数 地上1F	
	構造	SRC ☒ RC ☐ S				
	電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()			
電気設備	受電設備容量	100 KVA				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA ☐ 低圧 KVA 合計 0台 ☒ 無				
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 2面 ☒ 動力制御盤 1面				
	変圧器	☒ 有 (合計 1台・合計 50 KVA) ☐ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 0台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台				
	備考	合計 0台 ☒ 無				
	空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無			
		熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油	
☐ 冷温水発生機 kw			☐ 電気 ☐ その他 ()			
☐ 冷凍機 kw			☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 (A重油)			
☒ パッケージユニット			☐ 電気 ☐ その他 ()			
☒ ヒートポンプ			☒ 電気 ☐ その他 ()			
☐ その他						
ソーラーシステム		☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☒ 有 ☐ 無	中央監視装置	☒ 有 ☐ 無
備考	パッケージユニットは、別建物のおたっしや工房のみ					
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☐ 高置水槽 ☒ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考	浴槽用ボイラー (75.6kw・熱源はA重油)				
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1窓 副受信機 0台) ☐ 無				
	非常放送設備	☒ 有 ☐ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☒ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他機械設備	男女内風呂 (男女ともカラン6台ずつ)					

2 施設利用状況

	H 2 1 年度	H 2 2 年度	H 2 3 年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数（全館 2 5 0 人収容）	59,091 人	61,493 人	52,318 人	6 0 歳以上。利用者は市内約 6 割、市外約 4 割
各室利用人数	内訳統計 データなし			カラオケ、食事等の実施
集会室（100 畳）				囲碁・将棋を実施。
和室（36 畳）				サークル活動他
会議室				パソコン教室、麻雀教室他
相談室				マッサージ、インターネットサロン等の実施
機能回復訓練室				一番利用頻度の高い設備
浴室				主にサークル活動で利用
おたっしや工房				

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		老人福祉センターは地域の高齢者に対して各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者に健康で明るい生活を営んでもらうことを目的に、昭和54年11月開設された。平成9年度には、経年劣化を理由に内・外壁・屋根の改修、空調設備改修、電気設備改修を行っている。 また、「おたっしや工房」は、高齢者の生きがいをもった活動を支援するために陶芸施設として設置していたが、平成11年に陶芸以外の「うどん作り、茶道、華道」などの様々な生きがい活動に利用するため、敷地内に新たに専用の建物を建築した。 平成19年7月1日からは、行政改革の一環として、単独した施設であり費用対効果を考慮して指定管理者制度を導入している。			
来館者用駐車場		■ 有（収容台数：72台） □ 無			
借地・寄附・補助金等	借地の有無	■ 有（面積）19787、48㎡（筆数）1筆（地権者数）2人 【□敷地全体 □駐車場のみ ■その他（障害者施設「きいちご」の敷地含む）】			
		□ 無			
	寄附の有無	□ 有（内容）			
		■ 無			
建設費補助金の有無		■ 有（防衛補助施設63,300千円） □ 無			
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無		■ 有（二次避難所） □ 無			
施設利用者の要望・意見等		H19年～H23・10月まで6回に亘って利用アンケート調査を実施した。結果、23年度は次の要望や意見があった。 ・入浴時間をもう少し延長してほしい。軽食や弁当を売ってほしい。風呂の水栓を増やしてほしい。 ・昼寝（横になる）する所が欲しい。 ・インターネットの利用日を増やしてほしい。 ・駐車場の車位置をもう少しハッキリと ・カラオケは2番までにしたい。 ・木の椅子を増やしてほしい ・カランの数が少ないので増やしてほしい。 ・冷水器を置いて欲しい。 ・自由に使えるロッカーが欲しい。 ・編み物教室専用の戸棚が欲しい ・風呂場の椅子を取り換えてほしい。 ※風呂に関する要望が多くなってきている。			
施設運営上の問題点等		・冷暖房設備の運営管理において、中央集中管理方式になっておらず、勝手に各部屋単位で温度調整やその他の操作が出来ることから、運用面で周知徹底できない。 ・空調設備の老朽化が進行し、修理のバランスを取っていくに難しい局面を迎えている。 ・「おたっしや工房」棟の天井部が屋根部まで空いており、エネルギー的損失が大で、一工夫を要する。 ・キュービクルの老朽化進行し、更新時期にある。 ・ボイラー機器類の老朽化に伴う故障の頻度が多くなってきている。（寿命の危機にある） ※ボイラー機器（本体）3回 費用約90万円 ※エアコン室外機故障：フローSW交換（11月）&pac-3号機の圧縮装置異常音発生中。 ※キュービクル：関東電気保安協会より、更新を提案。 ※風呂場の設計（安全安心）見直し、水周りの配管の再調査			
その他施設情報		※平成19年7月から導入した指定管理者制度においては、選定の段階で複数社の提案があったが、審査の結果、提案内容及び市内高齢者の生きがいづくりに主眼を置いて活動している団体であることから、社団法人鶴ヶ島市シルバー人材センターに決定し、現在に至っている。 ※23年度の市内居住者と市外居住者の利用割合は、6：4の比率であるが、市外の内訳は川越12％、坂戸11％、日高10％、毛呂山4％等で、市外利用者増の傾向にある。 ※施設利用者で、家に居場所がない高齢者としてのデータは無いが、15％強は家族帯同者ではないアンケートデータあり。その他、若者の利用はほとんどないに等しい。※若者のたまり場の利用もなく、名実ともに老人達による利用施設となっている。 ※施設利用の変化としては、60歳以上でも、年々歳々、高齢化から老齢化が進行で、決まったりピーターの利用が多い。			

◆空調設備(詳細)

空調方式	☒ 中央	☐ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	--	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------

◆公民館等（老人福祉センター）

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
集会室（100畳）	有	ヒートポンプ	電気
和室（36畳）	有	ヒートポンプ	電気
会議室	有	ヒートポンプ	電気
相談室	有	ヒートポンプ	電気
機能回復訓練室	有	ヒートポンプ	電気
おたっしや工房	有	パッケージユニット	電気

※おたっしや工房は、別建物なので空調の系統が別であり、老人福祉センターとしては空調方式は「中央」となる。

◆舞台のある部屋の設備

部屋名	集会室		
-----	-----	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☒ 有 ☐ 無	約38 m ²	
舞台照明	☐ 有 ☒ 無	基	
プロジェクター	☐ 有 ☒ 無	台	
スクリーン	☐ 有 ☒ 無	m ²	
音響設備	☒ 有 ☐ 無		レーザーカラオケ、天井スピーカー

記入した設備・備品の故障の有無及び状況

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島海洋センター		所在地	鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘54-4	
所管部署	教育部 市民スポーツ課				

1 施設の概要

設置目的	陸上及び海洋性スポーツ並びにレクリエーションに関する研修、競技会及び各種事業を行い、もって市民の健康と健全な心身の発達を図る。							
設置根拠法令等	鶴ヶ島海洋センターの管理及び運営に関する条例							
施設開設時期	昭和57年4月	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	2 人	その他	1 人	
現建物当初建設費	186,000,000円 (B&G財団施工)							
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営							
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	警備清掃業務、夜間警備業務、冷暖房設備保守点検業務、受水槽清掃業務					
	☐ 指定管理者	(名称)						
敷地	敷地面積	10,060.68 m ² (筆数) 18 筆						
	用途地域	第1種住居地域	防火地域	☐ 防火地域	☐ 準防火地域	☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和57年3月10日	改修年月	☒ 有 (平成11年1月) ☐ 無				
	建築面積	1179.26m ²	延床面積	1102.28m ²	階数	地上1階		
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S						
	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()						
電気設備	受電設備容量	80 KVA						
	自家発電設備	☐ 高圧	KVA	☐ 低圧	KVA	合計	台	☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()						
	主要盤類	☒ 配電盤 4 面 ☒ 電灯分電盤 1 面 ☒ 動力制御盤 1 面						
	変圧器	☒ 有 (合計 2 台・合計 80 KVA) ☐ 無						
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無						
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台						
		合計 台 ☒ 無						
	備考							
	空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無					
熱源機器		☐ ボイラー	kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油			
		☐ 冷温水発生機	kw		☐ 電気 ☐ その他 ()			
		☐ 冷凍機	kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()			
		☒ パッケージユニット			☐ 電気 ☐ その他 ()			
		☒ ヒートポンプ			☒ 電気 ☐ その他 ()			
		☐ その他						
ソーラーシステム		☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無		
備考								
衛生設備		給水方式	☐ 直結 ☐ 高置水槽 ☒ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)					
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式)						
		☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬時式)						
	☐ 併用方式 ()							
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()						
プール設備	☐ 有 ☒ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無				
備考	給水については、受水槽に貯水後、圧力ポンプにて各箇所に給水する。							
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)						
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無						
	備考							
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無						
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無			
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無						
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧						
		☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)						
備考								
その他設備								

2 施設利用状況

		H 1 9 年 度	H 2 0 年 度	H 2 1 年 度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数		69,881 人	60,253 人	61,953 人	成人の利用が多い
各 室 利 用 人 数	体育館 (収容人数 1,628人)	65,263 人	58,593 人	60,465 人	
	ミーティングルーム (収容人数 126人)	4,618 人	1,660 人	1,488 人	
		人	人	人	
		人	人	人	
		人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		鶴ヶ島海洋センターは、「住みよい、明るい郷土建設」を目標とした鶴ヶ島町の総合振興計画により、産業と生活文化の調和した豊かな「産業田園都市」をめざすとともに、町民一人一人が健康で文化的な生活が営めるように、スポーツに親しみ、健康で豊かな町、自然を愛し、美しい文化の町づくりを推進する中で、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B & G 財団）により建設された。 B & G 財団は、海洋センターを全国市町村に建設しており、海洋センター施設計画の候補地を募った結果、鶴ヶ島市が、海洋センター建設最適地（体育館・プール・幼児プールを含む）に選ばれたことから、施設の誘致をすることとなった。建設工事は、昭和 56 年 9 月に着工し、昭和 57 年 3 月に完成した。なお、建設については、B & G 財団が行い、完成した建物を市に無償譲渡したものである。開館日は、昭和 57 年 4 月 21 日。 建設当時はスポーツの町と呼ばれ、中学校放送リレーで全国優勝するなど、町を挙げてスポーツが盛んであり、体育協会では、いつでも、どこでも気軽にスポーツができるようにと町民皆スポーツ宣言を行って町民総参加と指導者の育成を推進していた。施設建設場所は、当初、民間の温水プールの計画があったが、資金難から計画がなくなってしまった場所であり、その後、B & G 財団の施設誘致の話があり、建設に至った。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：34 台） ☐ 無				
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☒ 有（面積） 7,726.68 m ² （筆数） 14 筆（地権者数） 2 人 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☒ その他（敷地 7,349m ² 、進入路 377.68m ² ）			
		☐ 無			
	寄附の有無	☐ 有（内容）			
		☒ 無			
建設費補助金の有無		☐ 有（円） ☒ 無			
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☒ 有 ☐ 無				
施設利用者の要望・意見等	・温水シャワーの設置要望あり。				
施設運営上の問題点等	・施設が建設され約 30 年が経過していることから、管理棟の屋根や看板等に錆が発生している。 ・敷地全体（10,060.68m ² ）の約 76.8%（7,726.68m ² ）が借地となっている。地権者に高齢者がいることから、相続の発生により借地を買い取る場合には、相応の経費負担が必要となる。				
その他施設情報	プールについては、平成 16 年度時点で開設後 23 年が経過し、鉄骨からの錆発生が激しく、強度がかなり低下していた。また、プール利用者については、近隣に競合する施設が多数出来たことから年々減少し、開設当初の 3 万人と比較して 7 千人と 4 分の 1 以下になっていた。こうしたから、プール一般開放における所期の目的は達成されているものと考えられたため、平成 16 年度をもって閉鎖し、平成 20 年 5 月に解体した。 なお、解体にあたっては、B & G 財団と協議しており、平成 18 年 12 月に承諾を得ている。 利用者の約 80% が市内在住・在勤・在学者である。				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆公民館等(海洋センター)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
事務室	有	ヒートポンプ	電気
ミーティングルーム	有	ヒートポンプ	電気
ロビー	有	パッケージユニット	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無		
舞台照明			
プロジェクタ			
スクリーン			
音響設備			
記入した計			

該 当 な し

施 設 調 査 シ ー ト

施設名	心身障害者地域デイケア施設		所在地	三ツ木935-1	
所管部署	健康福祉部 障害者福祉課				

1 施設の概要

設置目的	心身の障害により就労が困難な者を通所させて、職業訓練、生活指導等を行い、これらの者の自立更生と社会参加を図ること					
設置根拠法令等	鶴ヶ島市立心身障害者地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例					
施設開設時期	平成元年4月1日	施設職員数 (旧22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	4 人 その他 9 人	
現建物当初建設費	114,930,000円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☐ 直営 (一部業務委託)		(委託内容)			
	☒ 指定管理者		(名称)	特定非営利活動法人きいちご		
敷地	敷地面積	3,525.54 m ² (筆数) 1 筆 (19787.48m ²) の一部				
	用途地域	指定なし	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	平成元年3月	改修年月	☒ 有 (平成14年2月) ☐ 無		
	建築面積	534.26m ²	延床面積	519.56m ²	階 数 平屋	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☐ キュービクル ☒ その他 (引込盤)				
	受電設備容量	100V・200V				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 台	☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1 面 ☒ 電灯分電盤 1 面 ☒ 動力制御盤 3 面				
	変圧器	☐ 有 (合計 台・合計 KVA) ☒ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台 合計 台 ☒ 無				
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☐ 個別 ☒ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☒ ヒートポンプ		☐ 電気 ☒ その他 (プロパン)		
		☐ その他				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☒ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☐ その他 ()				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☒ 貯湯式 ☐ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()				
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
	備考					
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H 1 9 年度	H 2 0 年度	H 2 1 年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数（定員19人）	16 人	15 人	16 人	
各室利用人数	作業室	人	人	
	生活訓練室	人	人	
	工芸室	人	人	
	静養室	人	人	
	食堂	人	人	
		人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯		昭和58年度から、知的障害のある子どもを持つ親が中心となる手をつなぐ親の会が、町内に障害者の日中の活動の場、働く場を作ることを目指して、バザーや模擬店などを行い、資金を集めてきた。 また、昭和60年度から、町と障害者関係団体とでデイケア施設建設計画について協議を行った。そして、協議を進める中で、手をつなぐ親の会を運営主体としてデイケア施設を建設することとし、昭和62年度にデイケア施設基本計画が決定された。建設場所については、既に設置してある老人福祉センターに隣接する場所を選定した。 手をつなぐ親の会は、チャリティバザーなどで集めたお金をデイケア施設の建設資金にして欲しいとして、昭和63年、町に450万円の寄付をした。 こうして、昭和63年度にデイケア施設建設工事に着手し、平成元年4月に心身障害者地域デイケア施設「きいちご」が開所した。	
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：10台） ☐ 無		
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☒ 有（面積） 19,787.48 m ² （筆数） 1 筆（地権者数） 2 人（共有） ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）	
	寄附の有無	☒ 有（内容）手をつなぐ親の会より450万円の寄付 ☐ 無	
	建設費補助金の有無	☐ 有（ ）円 ☒ 無	
	鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無	
施設利用者の要望・意見等	・食堂を広くしてほしい。 ・面談室を作ってほしい。		
施設運営上の問題点等	・パソコンやプリンターなどの機器の台数が増加し、事務室の電気容量が不足してきている。（タコ足配線） ・大雨が降ると中倉庫に雨水が入り込むことがある。		
その他施設情報	デイケア施設は平成元年4月の開所当時から、手をつなぐ親の会に業務委託をして、運営してきた。 平成18年7月からは、指定管理者制度を導入し、平成18年7月から平成21年3月までの第1期についてNPO法人きいちごを指定管理者として指定し、平成21年4月から平成26年3月までの第2期についてもNPO法人きいちごを指定し、運営している。 なお、敷地を借地しているが、きいちご建設前から老人福祉センター敷地として借地している土地のため、老人福祉センターを所管する高齢者福祉課にてまとめて借地料を支払っている。		

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☐ 個別	☒ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	-----------------------------	--	----------------------------

◆公民館等(心身障害者地域デイケア施設きいちご)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
作業室	有	パッケージユニット	電気
生活訓練室	有	ヒートポンプ	プロパンガス
工芸室	有	ヒートポンプ	プロパンガス
静養室	有	パッケージユニット	電気
食堂	有	パッケージユニット	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無		
舞台照明			
プロジェク			
スクリーン			
音響設備			
記入した設			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島保育所（H10から発育支援センター含む）	所在地	鶴ヶ島市大字脚折1922-23
所管部署	健康福祉部 こども支援課		

1 施設の概要

設置目的	児童福祉法第24条に基づき、保護者の労働、疾病その他の事由により家庭で保育できない児童を保育するための児童福祉施設として設置				
設置根拠法令等	児童福祉法、児童福祉法第45条第1項に基づく児童福祉施設最低基準、鶴ヶ島市立保育所の設置及び管理条例				
施設開設時期	昭和41年4月	施設職員数 (H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託 施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		
現建物当初建設費	465,150,000円				
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営				
	☒ 直営（一部業務委託）	(委託内容)	夜間警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守点検業務、エレベーター保守点検業務、受水槽保守点検業務、浄化槽保守点検業務、植栽管理業務、害虫駆除業務、遊具点検業務、雑排水汲取業務、調理室レンジフード清掃業務、除草業務		
	☐ 指定管理者	(名称)			
敷地	敷地面積	2,514.99㎡ (筆数) 1筆			
	用途地域	指定なし	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	平成10年3月	改修年月	☒ 有 (平成12年12月) ☐ 無	
	建築面積	829.88㎡	延床面積	1313.17㎡	階数 2階
	構造	☒ SRC ☐ RC ☐ S			
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☒ キュービクル ☐ その他 ()			
	受電設備容量	225 KVA			
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	0台 ☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()			
	主要盤類	☒ 配電盤 1面 ☒ 電灯分電盤 1面 ☒ 動力制御盤 1面			
	変圧器	☒ 有 (合計 2台・合計 225 KVA) ☐ 無			
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無			
	昇降機設備	☒ エレベーター 1台 ☐ 小荷物専用 1台 ☐ その他 () 台 合計 2台 ☐ 無			
空調設備 (概要)	備考				
	空調方式	☒ 中央 ☐ 個別 ☐ 併用 ☐ 無			
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油	
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()	
		☐ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☒ ヒートポンプ		☒ 電気 ☐ その他 ()	
	☐ その他				
ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☒ 有 ☐ 無
備考	床暖房有 (電気)				
衛生設備	給水方式	☐ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☒ その他 (受水槽)			
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☒ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()			
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他 (合併処理浄化槽 65人槽)			
	プール設備	☐ 有 ☒ 無		中水設備	☐ 有 () ☒ 無
	備考				
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)			
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無			
	備考				
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1窓 副受信機 台) ☐ 無			
	非常放送設備	☒ 有 ☐ 無		排煙設備	☐ 有 ☒ 無
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無			
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)			
	備考				
その他機械設備					

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	164人	177人	179人	
各室利用人数	0歳児室（収容人数12人）	6人	6人	6人
	1歳児室（収容人数16人）	9人	9人	10人
	1歳児室（収容人数15人）	9人	8人	11人
	2歳児室（収容人数28人）	23人	23人	22人
	3歳児室（収容人数28人）	27人	27人	28人
	4歳児室（収容人数28人）	23人	24人	26人
	5歳児室（収容人数28人）	25人	25人	27人
	指導室（収容人数30人）	20人	25人	18人
	訓練室（収容人数21人）	22人	30人	31人
				0歳児～就学前児童 0歳児～就学前児童及び保護者

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	昭和41年開設当初からの建物が約30年が経過し、0歳児保育や一時保育と多様化する保育ニーズに対応するため、改築の計画がされた。そして、発達に遅れがある児童の子育てを支援する為、発達支援センターを含む複合施設として建設され、平成10年に現建物での保育を開始した。平成12年には、待機児童対策として、教材室を保育室に改修している。 用地の選定理由 ・改築場所が既存地に隣接していることから、入所児童及び保護者に対して与える物理的、心理的影響が少ない。 ・既存地ではないため、仮設園舎等の経費が不要である。 ・既存地よりも県道から奥に入るため、送迎の利便性、児童の安全性が高まる。 ・既存地を駐車場とすることにより、保健センター、ハーモニーの利用者の利便性が高まる。 ・鶴ヶ島ケアホームに近くなるため、ケアホームとの交流事業を引き続き行っていくうえで利便性がある。 ・鶴ヶ島保育所発表会はハーモニーのホールを利用して行っているが、引き続き利用可能である。																																						
来館者用駐車場	☐ 有（収容台数： ） ☒ 無																																						
借地・寄附・補助金等	借地の有無 ☐ 有（面積） m ² （筆数） 筆（地権者数） 人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☐ その他（ ）】 ☒ 無	寄附の有無 ☐ 有（内容） ☒ 無																																					
	建設費補助金の有無	☒ 有（78,637,000円） 社会福祉施設等整備費補助金 ☐ 無																																					
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無																																						
施設利用者の要望・意見等	・玄関ホールガラスのひび割れを直してほしい。 ・4・5歳児室のトイレにおける床・壁に錆が発生している。 ・階段の滑り止めに剥がれが生じている ・大雨時の雨漏り（給食室、3歳児室）が生じている。 ・吊り下げ式の玄関扉が重みにより床を引きずり、開閉に支障が出ること多い。 レール式のものへの変更を検討したい																																						
施設運営上の問題点等	鶴ヶ島保育所については、受水槽が設置しており、給水は受水槽からのポンプの汲み上げによる方法である。平成23年に設備の劣化によりポンプのオーバーホールを実施した。夏場のプール実施時にはポンプによる供給が追いつかない状況も生じている。																																						
その他施設情報	・鶴ヶ島保育所としての駐車場はなく、送迎には保健センターの駐車場を使用している。保育所職員は旧鶴ヶ島保育所跡地を駐車場として利用している。 ・待機児童数の推移（市内全体） 4月1日現在 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>待機児童数（国定義）</th> <th>実際の人数</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成16年度</td><td>17人</td><td>27人</td><td>678人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>0人</td><td>7人</td><td>778人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>0人</td><td>5人</td><td>806人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>886人</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>25人</td><td>35人</td><td>885人</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>15人</td><td>24人</td><td>892人</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>935人</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>0人</td><td>13人</td><td>939人</td></tr> </tbody> </table> ※待機児童数は市内の認可保育園（民間も含む）への申込をしていて、入所できない児童の数です。			年 度	待機児童数（国定義）	実際の人数	入所児童数	平成16年度	17人	27人	678人	平成17年度	0人	7人	778人	平成18年度	0人	5人	806人	平成19年度	0人	10人	886人	平成20年度	25人	35人	885人	平成21年度	15人	24人	892人	平成22年度	0人	10人	935人	平成23年度	0人	13人	939人
年 度	待機児童数（国定義）	実際の人数	入所児童数																																				
平成16年度	17人	27人	678人																																				
平成17年度	0人	7人	778人																																				
平成18年度	0人	5人	806人																																				
平成19年度	0人	10人	886人																																				
平成20年度	25人	35人	885人																																				
平成21年度	15人	24人	892人																																				
平成22年度	0人	10人	935人																																				
平成23年度	0人	13人	939人																																				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☒ 中央	☐ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	--	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------

◆公民館等（鶴ヶ島保育所・発育支援センター）

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
0歳児室	有	ヒートポンプ	電気
1歳児室	有	ヒートポンプ	電気
1歳児室	有	ヒートポンプ	電気
2歳児室	有	ヒートポンプ	電気
3歳児室	有	ヒートポンプ	電気
4歳児室	有	ヒートポンプ	電気
5歳児室	有	ヒートポンプ	電気
指導室	有	ヒートポンプ	電気
訓練室	有	ヒートポンプ	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無		
舞台照明			
プロジェクター			
スクリーン			
音響設備			
記入した			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	鶴ヶ島東部保育所		所在地	鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘306-2	
所管部署	健康福祉部 こども支援課				

1 施設の概要

設置目的	児童福祉法第24条に基づき、保護者の労働、疾病その他の事由により家庭で保育できない児童を保育するための児童福祉施設として設置					
設置根拠法令等	児童福祉法、児童福祉法第45条第1項に基づく児童福祉施設最低基準、鶴ヶ島市立保育所の設置及び管理条例					
施設開設時期	昭和49年4月	施設職員数(H22.4.1)	※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員 13 人 その他 32 人	
現建物当初建設費	45,800,000円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営					
	☒ 直営(一部業務委託)	(委託内容)	夜間警備業務、浄化槽保守点検業務、害虫駆除業務、遊具点検業務、雑排水汲取業務、調理室レンジフード清掃業務			
	☐ 指定管理者	(名称)				
敷地	敷地面積	2,034.89㎡ (筆数) 2筆				
	用途地域	指定なし	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和49年3月	改修年月	☒ 有(下記「その他機械設備」欄参照) ☐ 無		
	建築面積	730.67㎡	延床面積	714.76㎡	階数 1階	
	構造	☐ SRC ☐ RC ☒ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☐ キュービクル ☒ その他(引込盤)				
	受電設備容量	100V・200V				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 台	☒ 無	
	受電方式	☒ 一戸柱 ☐ ピラー ☐ その他()				
	主要盤類	☐ 配電盤 面	☒ 電灯分電盤 1面	☐ 動力制御盤 面		
	変圧器	☐ 有(合計 台・合計 KVA) ☒ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台	☐ 小荷物専用 台	☐ その他() 台		
	備考					
	空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無			
熱源機器		☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他()		
		☐ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他()		
		☒ ヒートポンプ		☒ 電気 ☐ その他()		
		☐ その他				
ソーラーシステム		☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
備考						
衛生設備		給水方式	☒ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☐ その他()			
	給湯方式	☐ 中央方式(☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式(☒ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式()				
	排水処理	☐ 合流 ☐ 分流 ☒ その他(合併処理浄化槽 10人槽・単独処理浄化槽 40人槽)				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無	中水設備	☐ 有() ☒ 無		
	備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス(☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☒ 有(受信機 1窓 副受信機 台) ☐ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無		
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他() ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他(消火器)				
	備考					
その他機械設備	改修年月:昭和52年3月【1・2歳児室及び遊戯室増築】、昭和63年11月【調理室拡張】、平成元年9月【屋根、雨どい更新、外壁改修(吹付)】、平成9年3月【0歳児室増築】					

2 施設利用状況

		H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数		129人	129人	129人	
各室利用人数	0歳児室（収容人数 8人）	8人	8人	8人	
	1歳児室（収容人数 13人）	13人	13人	13人	
	2歳児室（収容人数 24人）	23人	24人	24人	
	3歳児室（収容人数 31人）	24人	30人	31人	
	4歳児室（収容人数 31人）	30人	23人	31人	
	5歳児室（収容人数 31人）	31人	31人	22人	
	（収容人数 人）	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	昭和40年代には、市内には鶴ヶ島保育所1ヵ所しかなかったため、急激な人口の増加に伴う保育需要の増大に対応して、市内2ヵ所目の施設として、昭和49年に開設した。建設場所選定の経緯等は資料がないため、不明である。また、増築工事により昭和52年3月には1、2歳児室を増設し、平成9年3月には0歳児室を増築している。																																						
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：15台） ☐ 無																																						
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☒ 有（面積）1,038.75㎡（筆数）3筆（地権者数）2人 ☐ 敷地全体 ☒ 駐車場のみ ☐ その他（ ）																																					
	寄附の有無	☐ 有（内容） ☒ 無																																					
	建設費補助金の有無	☒ 有（15,688,000円） ☐ 無																																					
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無																																						
施設利用者の要望・意見等	・門扉の開閉を動きを良くし、塗り替えをしてほしい。 ・テラスコンクリートのひび割れを改善してほしい。																																						
施設運営上の問題点等	建設から37年が経過し、施設全体の老朽化が激しい。施設統廃合の可能性も含めた保育計画が未定であることから、耐震化を実施していなかった。平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、児童の安心安全確保を優先して、保育計画に先駆けて平成24年度に耐震診断の実施を予定している。耐震診断の結果もふまえて保育計画の方向性を出さなければならない。																																						
その他施設情報	平成13年度に送迎の自動車の路上駐車が周辺住民や通行者に支障を来していたため、借地のうえ駐車場を整備した。駐車場と通路の維持管理の為に予算を毎年計上している。（敷砂利等） ・待機児童数の推移（市内全体） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>待機児童数 （国定義）</th> <th>実際の人数</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成16年度</td><td>17人</td><td>27人</td><td>678人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>0人</td><td>7人</td><td>778人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>0人</td><td>5人</td><td>806人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>886人</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>25人</td><td>35人</td><td>885人</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>15人</td><td>24人</td><td>892人</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>935人</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>0人</td><td>13人</td><td>939人</td></tr> </tbody> </table> 4月1日現在 ※待機児童数は市内の認可保育園（民間も含む）への申込をしていて、入所できない児童の数です。			年 度	待機児童数 （国定義）	実際の人数	入所児童数	平成16年度	17人	27人	678人	平成17年度	0人	7人	778人	平成18年度	0人	5人	806人	平成19年度	0人	10人	886人	平成20年度	25人	35人	885人	平成21年度	15人	24人	892人	平成22年度	0人	10人	935人	平成23年度	0人	13人	939人
年 度	待機児童数 （国定義）	実際の人数	入所児童数																																				
平成16年度	17人	27人	678人																																				
平成17年度	0人	7人	778人																																				
平成18年度	0人	5人	806人																																				
平成19年度	0人	10人	886人																																				
平成20年度	25人	35人	885人																																				
平成21年度	15人	24人	892人																																				
平成22年度	0人	10人	935人																																				
平成23年度	0人	13人	939人																																				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆公民館等 (鶴ヶ島東部保育所)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
0歳児室	有	ヒートポンプ	電気
1歳児室	有	ヒートポンプ	電気
2歳児室	有	ヒートポンプ	電気
3歳児室	有	ヒートポンプ	電気
4歳児室	有	ヒートポンプ	電気
5歳児室	有	ヒートポンプ	電気
ホール	無	無	無
職員室	有	ヒートポンプ	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無	m ²	
舞台照明			
プロジェ			
スクリー			
音響設備			
記入した			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	富士見保育所	所在地	鶴ヶ島市富士見2-24-4
所管部署	健康福祉部 こども支援課		

1 施設の概要

設置目的	児童福祉法第24条に基づき、保護者の労働、疾病その他の事由により家庭で保育できない児童を保育するための児童福祉施設として設置				
設置根拠法令等	児童福祉法、児童福祉法第45条第1項に基づく児童福祉施設最低基準、鶴ヶ島市立保育所の設置及び管理条例				
施設開設時期	昭和54年4月	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員 13 人	その他 38 人
現建物当初建設費	79,585,000円				
施設運営方法 (施設の維持管理等の運営方法)	☐ 直営				
	☒ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)	夜間警備業務、害虫駆除業務、遊具点検業務、雑排水汲取業務、調理室レンジフード清掃業務		
	☐ 指定管理者	(名称)			
敷地	敷地面積	1,987.27㎡ (筆数) 1 筆			
	用途地域	第二種中高層住居専用地域	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし	
現在の建物	竣工年月	昭和54年3月	改修年月	☐ 有 (年 月) ☒ 無	
	建築面積	784.23㎡	延床面積	762.27㎡	階数 1 階
	構造	☐ SRC ☐ RC ☒ S			
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☐ キュービクル ☒ その他 (引込盤)			
	受電設備容量	100V・200V			
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計 台	☒ 無
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ピラー ☐ その他 ()			
	主要盤類	☐ 配電盤 面	☒ 電灯分電盤 1 面	☒ 動力制御盤 1 面	
	変圧器	☐ 有 (合計 台・合計 KVA) ☒ 無			
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無			
	昇降機設備	☐ エレベーター 台	☐ 小荷物専用 台	☐ その他 () 台	
備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無			
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油	
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()	
		☐ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()	
		☒ ヒートポンプ		☒ 電気 ☐ その他 ()	
		☐ その他			
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置 ☐ 有 ☒ 無
	備考				
	衛生設備	給水方式	☒ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☐ その他 ()		
給湯方式		☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式) ☒ 局所方式 (☒ 貯湯式 ☒ 瞬時式) ☐ 併用方式 ()			
排水処理		☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()			
プール設備		☒ 有 ☐ 無	中水設備	☐ 有 () ☒ 無	
備考					
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)			
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無			
	備考				
防災設備	火災報知器	☒ 有 (受信機 1 窓 副受信機 台) ☐ 無			
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無	
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無			
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧 ☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)			
	備考				
その他機械設備					

2 施設利用状況

		H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数		135人	135人	136人	
各 室 利 用 人 数	0歳児室（収容人数8人）	8人	8人	8人	
	1歳児室（収容人数13人）	13人	13人	13人	
	2歳児室（収容人数24人）	24人	24人	24人	
	3歳児室（収容人数33人）	28人	28人	33人	
	4歳児室（収容人数33人）	31人	31人	31人	
	5歳児室（収容人数33人）	31人	31人	27人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	昭和40年代に日本住宅公団により富士見地区の区画整理が施行された。この区画整理の進捗に合わせ、昭和47年12月に富士見区画整理事業の保育所を含む公共施設の整備について、市は日本住宅公団に要望した。その後も市は、昭和54年1月22日に若葉台団地（仮称）の公共施設の整備について要望しており、こうした活動の結果、周辺の保育需要に対応し、富士見保育所は建設された。建設費は国・県・市で負担している。 現在の地権者は、日本住宅公団を引き継いで設立された独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）である。当時の日本住宅公団との協議により、昭和54年3月に、現在の場所における土地使用賃借契約書において使用料無償の契約を締結している。																																						
来館者用駐車場	☐ 有（収容台数： ） ☒ 無																																						
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☒ 有（面積）1,987.27㎡（筆数）1筆（地権者数）1人 ☒ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ※独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）より無償貸借 ☐ その他（ ）																																					
	寄附の有無	☐ 有（内容） ☒ 無																																					
	建設費補助金の有無	☒ 有（51,807,000円） ☐ 無																																					
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無																																						
施設利用者の要望・意見等	・保育室の床の盛り上がりが目立つので、解消してほしい。 ・ロッカーの仕切り板が破損しているため、修繕してほしい。 ・テラス波板が破損しているため、改善してほしい。 ・歩行困難な児童（入所していない）の保護者からバリアフリーにしてほしいとの要望も受けている。																																						
施設運営上の問題点等	建設から32年が経過し、施設全体の老朽化が激しい。施設統廃合の可能性も含めた保育計画が未定であることから、耐震化を実施していなかった。平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、児童の安心安全確保を優先して、保育計画に先駆けて平成24年度に耐震診断の実施を予定している。耐震診断の結果もふまえて保育計画の方向性を出さなければならない。建物の老朽化による建て替えの必要が生じた場合には、引き続き無償で借地できるのかどうかという点も含め、都市再生機構との調整が必要となる。無償で借地ができなくなった場合は、代替地の確保など大きな課題が生じる。																																						
その他施設情報	・待機児童数の推移（市内全体） 4月1日現在 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>待機児童数（国定義）</th> <th>実際の人数</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成16年度</td><td>17人</td><td>27人</td><td>678人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>0人</td><td>7人</td><td>778人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>0人</td><td>5人</td><td>806人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>886人</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>25人</td><td>35人</td><td>885人</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>15人</td><td>24人</td><td>892人</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>0人</td><td>10人</td><td>935人</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>0人</td><td>13人</td><td>939人</td></tr> </tbody> </table> ※待機児童数は市内の認可保育園（民間も含む）への申込をしていて、入所できない児童の数です。			年 度	待機児童数（国定義）	実際の人数	入所児童数	平成16年度	17人	27人	678人	平成17年度	0人	7人	778人	平成18年度	0人	5人	806人	平成19年度	0人	10人	886人	平成20年度	25人	35人	885人	平成21年度	15人	24人	892人	平成22年度	0人	10人	935人	平成23年度	0人	13人	939人
年 度	待機児童数（国定義）	実際の人数	入所児童数																																				
平成16年度	17人	27人	678人																																				
平成17年度	0人	7人	778人																																				
平成18年度	0人	5人	806人																																				
平成19年度	0人	10人	886人																																				
平成20年度	25人	35人	885人																																				
平成21年度	15人	24人	892人																																				
平成22年度	0人	10人	935人																																				
平成23年度	0人	13人	939人																																				

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☒ 個別	☐ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

◆公民館等（富士見保育所）

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
0歳児室	有	ヒートポンプ	電気
1歳児室	有	ヒートポンプ	電気
2歳児室	有	ヒートポンプ	電気
3歳児室	有	ヒートポンプ	電気
4歳児室	有	ヒートポンプ	電気
5歳児室	有	ヒートポンプ	電気
職員室	有	ヒートポンプ	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無		
舞台照明			
プロジェクタ			
スクリーン			
音響設備			
記入した記			

該 当 な し

施設調査シート

施設名	上広谷児童館		所在地	鶴ヶ島市上広谷651-3		
所管部署	健康福祉部 こども支援課					
1 施設の概要						
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情緒を豊にする					
設置根拠法令等	児童福祉法、鶴ヶ島市児童館条例					
施設開設時期	昭和62年5月5日	施設職員数 (H22.4.1) ※指定管理者制度導入及び運営委託施設は、委任先の企業、団体等が配置している職員数		正職員	2 人 その他 5 人	
現建物当初建設費	119,900,000円					
施設運営方法 (施設の維持管理等の 運営方法)	☐ 直営					
	☐ 直営 (一部業務委託)	(委託内容)				
	☒ 指定管理者	(名称)	NPO法人 鶴ヶ島市学童保育の会			
敷地	敷地面積	1,677.79 m ² (筆数) 1 筆				
	用途地域	指定なし	防火地域	☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☒ 指定なし		
現在の建物	竣工年月	昭和62年3月	改修年月	☐ 有 (年 月) ☒ 無		
	建築面積	446m ²	延床面積	396m ²	階数 地上1階	
	構造	☐ SRC ☒ RC ☐ S				
電気設備	受電設備	☐ オープン ☐ フレーム ☐ キュービクル ☒ その他 (引込盤)				
	受電設備容量	100V・200V				
	自家発電設備	☐ 高圧 KVA	☐ 低圧 KVA	合計	台 ☒ 無	
	受電方式	☒ 一号柱 ☐ ビラー ☐ その他 ()				
	主要盤類	☒ 配電盤 1 面 ☐ 電灯分電盤 面 ☐ 動力制御盤 面				
	変圧器	☐ 有 (合計 台・合計 KVA) ☒ 無				
	蓄電池設備	☐ 非常用 ☐ その他 合計 台 ☒ 無				
	昇降機設備	☐ エレベーター 台 ☐ 小荷物専用 台 ☐ その他 () 台				
	備考					
空調設備 (概要)	空調方式	☐ 中央 ☒ 個別 ☐ 併用 ☐ 無				
	熱源機器	☐ ボイラー kw	熱源	☐ 都市ガス ☐ プロパン ☐ 油		
		☐ 冷温水発生機 kw		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ 冷凍機 kw		☐ 都市ガス ☐ 油 ☐ その他 ()		
		☒ パッケージユニット		☐ 電気 ☐ その他 ()		
		☒ ヒートポンプ		☒ 電気 ☐ その他 ()		
		☐ その他 ()				
	ソーラーシステム	☐ 有 ☒ 無	蓄熱槽	☐ 有 ☒ 無	中央監視装置	☐ 有 ☒ 無
	備考					
衛生設備	給水方式	☒ 直結 ☐ 高置水槽 ☐ 圧力タンク ☐ ポンプ直送 ☐ その他 ()				
	給湯方式	☐ 中央方式 (☐ 貯湯ボイラー式 ☐ ソーラーシステム式)				
		☒ 局所方式 (☐ 貯湯式 ☒ 瞬時式)				
	排水処理	☐ 合流 ☒ 分流 ☐ その他 ()				
	プール設備	☐ 有 ☒ 無	中水設備	☐ 有 () ☒ 無		
ガス設備	供給方式	☒ LPG ☐ 都市ガス (☐ 中圧 ☐ 低圧 ☐ 併用)				
	しゃ断弁	☒ 有 ☐ 無				
	備考					
防災設備	火災報知器	☐ 有 (受信機 0 窓 副受信機 0 台) ☒ 無				
	非常放送設備	☐ 有 ☒ 無	排煙設備	☐ 有 ☒ 無		
	連動装置	☐ 防火シャッター ☐ 防火戸 ☐ その他 () ☒ 無				
	消火設備	☐ 屋内消火栓 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー ☐ 泡消火 ☐ 水噴霧				
		☐ 新ハロン ☐ 二酸化炭素 ☐ 粉末 ☐ ドレンチャー ☒ その他 (消火器)				
備考						
その他機械設備						

2 施設利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	利用者の傾向（年齢層・地域性・利用の多い理由等）
総利用人数	24,839人	30,966人	31,096人	市内小学生、近隣居住の乳幼児親子
各室利用人数	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	
	人	人	人	

3 建設当時の記録及び施設の現状等

施設建設の経緯	児童に健全な遊びを与え、情操を豊かにすることを目的に、市内2番目の児童館として建設。市内東部地区には既に公民館があったため、その改修費用とを比較考量し、現在地に児童館の単独館として昭和62年5月に開設。平成19年7月1日からサービスの向上と効率的な運営を図ることを目的として、指定管理者制度を導入。			
来館者用駐車場	☒ 有（収容台数：6台） ☐ 無			
借地・寄附・補助金等	借地の有無	☒ 有（面積） 694.00㎡ （筆数） 1筆 （地権者数） 1人 【 ☐ 敷地全体 ☐ 駐車場のみ ☒ その他（敷地一部）		
		☐ 無		
	寄附の有無	☐ 有（内容）		
		☒ 無		
建設費補助金の有無	☐ 有（円） ☒ 無			
鶴ヶ島市地域防災計画における避難所指定の有無	☐ 有 ☒ 無			
施設利用者の要望・意見等	こどもが集まる場所のため、冷暖房設備を充実させてほしい。 特に、冬は寒すぎるため、床暖房を整備してほしい。			
施設運営上の問題点等	施設が老朽化しているため、窓や網戸の開け閉めができない状態のものもある。躯体部分についてもひび割れも目立ち始めている。			
その他施設情報	サービスの向上と効率的な運営を図ることを目的として、平成19年7月1日から指定管理者制度を導入している。平成19年7月1日から平成22年3月31日まで、鶴ヶ島市学童保育の会を指定管理者として指定。そして、平成22年4月1日から平成27年3月31日まで、新たに鶴ヶ島市学童保育の会を指定管理者として再指定。地域のボランティアの協力を得て植木の手入れを行う等、効率的な運営を図っている。また、地域の児童館として密着しており、市民の声をきっかけに「上広谷児童館にエアコンを贈ろうチャリティライブ」が、わかば結市で継続的に行われている。平成22年度の秋にチャリティ募金を基に2台のエアコンが遊戯室に設置された。			

◆空調設備(詳細)

空調方式	☐ 中央	☐ 個別	☒ 併用	☐ 無
------	-----------------------------	-----------------------------	--	----------------------------

◆公民館等(上広谷児童館)

部 屋	空調有無	熱源機器の種類	熱源の種類
遊戯室	有	パッケージユニット	灯油
遊戯室	有	ヒートポンプ	電気
図書室	有	パッケージユニット	電気
事務室・静養室	有	パッケージユニット	電気
集会室	有	パッケージユニット	電気

◆舞台のある部屋の設備

部屋名			
-----	--	--	--

設 備	有 無	数量等	概 要
舞台	☐ 有 ☐ 無	2	
舞台照明			
プロジェ			
スクリー			
音響設備			
記入した			

該 当 な し